正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

1月号 2024



国際人道法の分野において優れた研究に贈られるPaul Reuter賞。1985年から３年に一度開催され、第13回となる今回の論文募集が始まりました。言語は、英語、フランス語、スペイン語に限ります。

締め切りは２カ月後の３月15日（英語）

動画で見るガザの現状



病院閉鎖の危機迫る
ガザ地区の医療体制



ガザ地区の避難民キャンプで暮らす住民が語る現地の「今」

紛争の現場から



スーダン：史上最多の600万人近くが避難

スーダンで紛争が激化して９カ月、暴力の激しさは収まることを知りません。首都ハルツームの街は破壊され、多くの人びとは、隣接しているゲジーラ州の州都ワド・メダニへ避難していますが・・・

安全なはずの避難先も今では危険な場所に



地球上にいくつ武装集団が存在すると思いますか？

世界では１億9,500万人が武装集団により何らかの影響を受けているといいます。ICRCは、その支配下や影響下で暮らす人びとの苦しみを軽減し、被害を予防・最小化するため、現在把握されているすべての武装集団の３分の２以上と接触しています。

世界に存在する武装集団の数は？答えはこちら

日本人に知ってもらいたい！



日本人戦傷外科医が語る：ナイジェリアで次世代に託すバトン

ナイジェリアでの紛争は、西アフリカで最も長く続いている紛争の一つです。ICRCは８年前から、戦闘に巻き込まれた民間人を救うため、外科的処置に加えて、次世代の戦傷外科

安藤恒平医師も現地で貢献！

駐日代表部だより



座学から実践へ
～国際人道法の知識をもって挑む世界大会

昨年12月、国際人道法模擬裁判とロールプレイ大会の国内予選を開催しました。模擬裁判では全国から８チーム、ロールプレイ大会には７チームが参加し、高度で熾烈な論戦が繰り広げられました。

国際人道法を極めるうえでの登竜門！レポートはこちら



Amazon Musicポッドキャストで聞く：
紛争下の病院や医療施設はどのように保護されるべき？

ジャーナリストの堀潤さんがパーソナリティーの「JAM THE WORLD - UP CLOSE」で、紛争下における病院や医療施設の保護について国際人道法の視点から語りました。そもそも病院を“敵に害を及ぼす行為”に利用することはNG。その一方で、軍事利用されているかどうか確証が取れない場合は、“そのように利用されていない”と考え、保護の対象となります。

堀潤さんとの対談配信はこちらから

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2024 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

